

## 第 88 号案件について

### 1. 企業の現状等

A 社（一般機械器具製造業、資本金 500 万円、売上高 1 億円、従業員 22 名）は、昭和 47 年設立後、半導体需要に支えられ、小規模ながら高い技術力を有していることから、比較的順調な業績推移をたどってきたが、近時の長い不況による受注減少から、赤字経営を余儀なくされ、債務超過の状況で資金繰りにも支障を来す状況となり、経営の改善を求めて協議会への相談となった。

協議会としては、A 社が高い技術力を有していることや地域に与える影響を勘案し、平成 15 年 10 月に常駐専門家、税理士、生産・製造技術コンサルタント、中小企業支援センター、弁護士による個別支援チームを立ち上げ、再生計画策定支援を行った。

### 2. 再生計画の概要

A 社の一品毎の高付加価値生産という従来からの非効率な生産体制をあらため、マシニング、NC 旋盤操作者の多台持ち等を実施することで、一定の稼働時間内での生産性を向上させ、コスト低減を図る。

半導体関連部品への偏重を是正し、半導体関連以外の受注先を確保するために、新たな販路開拓を行うことで売上の増加を図る。

資金繰表・給与計算・財務会計の各ソフトを導入することで、事務処理の手作業を排除し、作業の効率化・管理体制の整備を図る。

既存借入金のリスケジュールにより、資金繰りの安定化を図る。

これらの計画を実施することで、3 年を目途に債務超過の解消を図る。

### 3. 協議会の果たした役割

協議会としては、生産性向上や作業効率等を図るための具体的な改善策を提示することにより、実現性の高い事業計画をまとめた。

この結果、商工組合中央金庫やメインバンクをはじめとする関係金融機関（計 4 機関）のリスケジュールが実現した。

### 4. 効果、

直接的効果として、A 社の雇用確保が図られるとともに、間接的効果として、地域の優れた技術力が確保された。